

番号	科目名	単位数	学年	学科(系列・類型)	必修・選択
110	音楽Ⅰ	2	1	総合学科 工業科	芸術選択

履修条件、選択上の留意事項等

音楽Ⅰ，美術Ⅰ，書道Ⅰのいずれかを選択し履修する。

科目の目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技術を身に付けるようにする。

(2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。

(3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かにするものにしていく態度を養う。

評価の観点とその趣旨

① 知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技術を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。
② 思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

評価の方法

実技やレポートを中心に、授業態度や課題で総合的に判断して評価する。

学習計画

月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4 5	歌唱（日本歌曲）	山田耕筰作曲「この道」	歌唱に適した姿勢、呼吸法を習得し、体全体を使って歌唱することができる。		○	
	器楽（アンサンブル）	岡野貞一作曲「ふるさと」	リコーダーの基礎的演奏技法を習得し、主体的、協働的にデュエット演奏に取り組むことができる。			○
	創作（知識と技能）	西洋音楽の楽典	楽譜の基本的書き方や記号の意味を理解し、音程やリズムがわかる。	○		
6 7	歌唱（イタリア歌曲）	カープア作曲「我が太陽」	歌唱に適した姿勢、呼吸法で発声し、イタリア語の正しい発音で歌詞の意味を理解して歌唱することができる。		○	
	器楽（アンサンブル）	「荒れ野に御使い」	リコーダーの基礎的演奏技法を定着させ、曲の構成や曲想を考えてデュエットで演奏できる。	○		
	創作（知識と技能）	西洋音楽の楽典	リズムや拍子について理解し、主体的に4小節の旋律聴音と創作に取り組むことができる。			○
9 10	歌唱（ドイツ歌曲）	ヴェルナー作曲「のぼら」	歌唱に適した姿勢、呼吸法で発声し、ドイツ語の正しい発音で歌詞の意味を理解して歌唱することができる。		○	
	器楽（和楽器）	日本の民謡と民俗芸能	篠笛の基本的奏法を習得し、簡単なわらべ歌を演奏できる。	○		
	創作（知識と技能）	西洋音楽の楽典	リズムや拍子について理解し、主体的に4小節の旋律聴音と創作に取り組むことができる。			○
11 12	歌唱（合唱）	橋本祥路作曲「時の旅人」	歌唱に適した姿勢、呼吸法で発声し、美しいハーモニーで合唱することができる。		○	
	器楽（和楽器）	日本の民謡と民俗芸能	篠笛の基本的奏法を習得し、簡単な民謡を演奏できる。	○		
	創作（知識と技能）	西洋音楽の楽典	音階や音程について理解し、主体的に8小節の旋律聴音と創作に取り組むことができる。			○
1 2	鑑賞（交響詩）	魔法使いの弟子	デュカスの「魔法使いの弟子」を聴き、魔法使いが織りなす物語を思い浮かべ、音楽の特徴と作曲者の音楽表現を理解できる。		○	
	器楽（打楽器合奏）	クラッピングカルテット第1番	手を使って打楽器アンサンブルの奏法と無表現力を身に付けることができる。	○		
	創作（知識と技能）	西洋音楽の楽典	音階や音程について理解し、主体的に8小節の旋律聴音と創作に取り組むことができる。			○

番号	科目名	単位数	学年	学科(系列・類型)	必修・選択
111	美術 I	2	1	総合学科 工業科	芸術選択

履修条件、選択上の留意事項等

音楽 I，美術 I，書道 I のいずれかを選択し履修する。

科目の目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中で美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を想像していく態度を養う。

評価の観点とその趣旨

① 知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解できる。意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。素材と対話しながら、制作行動ができる。個性的な表現の強さがある。
② 思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し創造的に発想してアイデアを練ることができる。立体的に対象をとらえ、構図を考えながら表現することができる。美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。説明をよく聞き、授業に主体的に取り組むことができる。制作に没頭することができる。

評価の方法

制作作品、アイデアスケッチ、レポート、授業態度を総合して評価する。

学習計画

月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	鉛筆デッサン（静物）	身近なものを描く	身近なも事物を感性を働かせ、深く見つめ、感じ取り、考えることができる。		○	
			主題を追及して表現できる。	○		
5	銅版しおり	鉛筆で描く	光や陰影、面等を把握して、形体を表現できる。		○	
6		発想の広げ方	目的、機能、美しさなどを考えて主題を生成できる。		○	
		文様で飾る	意図に応じて、材料や用具の特性を生かすことができる。	○		
7	芸術鑑賞	作家の手法 伊藤有壺 作家の手法 中島千波 作家の手法 三沢厚彦 絵巻物を楽しむ 鳥獣戯画	美術作品のよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、理解を深めることができる。			○
9	オリジナルのチェス（石彫）	生命感をあらわす	感動や自己の思いを基に表したいことの中点となるテーマを自らつくりだすことができる。		○	
			形体や質感、動勢やマッスなどの造形的要素についての理解を深め、創意工夫できる。	○		
10		マークやデザインで伝える	目的、機能、美しさなどを考えて、主題を生成できる。		○	
	写真模写（鉛筆デッサン）	人物を撮影する	豊かな発想を基に構想を練り、材料や用具の特性を生かし、主題を追求して表現できる。		○	
11		鉛筆で描く	作品全体を大きくとらえながら、細部を確認したり、細部を表現しながら全体をとらえ直したりすることなどし、作品を多様な視点から見直すとともに、追求する態度を大切に、試行錯誤を繰り返しながら、表現を深めることができる。	○		
12	鑑賞と美術史	[作家の生涯と作品]パブロ・ピカソ 美術史年表	自然と美術とのかかわり、生活や社会を心豊かにする美術の働きについて考え、理解を深めることができる。 日本及び諸外国の美術文化について理解を深めることができる。		○	○
1	魔法のアイテム（木彫）	メッセージを広く伝える	発想や構想したことを基に、自分の表現を具体化するために、表現方法を創意工夫し、表現の意図を効果的に表すことができる。		○	
2		立体であらわす	意図に応じて、材料や用具の特性を生かすことができる。	○		

番号	科目名	単位数	学年	学科(系列・類型)	必修・選択
112	書道Ⅰ	2	1	総合学科 工業科	芸術選択

履修条件、選択上の留意事項等
音楽Ⅰ，美術Ⅰ，書道Ⅰのいずれかを選択し履修する。

科目の目標
書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。 (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。 (3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を楽しむ心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	書の表現の方法や形式、多様性などについて理解している。書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。
② 思考・判断・表現	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。
評価の方法	
ワークシートの記入内容、作品鑑賞カードの記入内容、発表の内容、作品、授業に取り組む姿勢などをもとに総合的に評価する。	

学習計画						
月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	書写から書道へ 硬筆の学習	書写の確認 用具用材・姿勢・執筆法	中学校国語科書写からの接続、書道の学習の仕方を理解している。 用具用材の取り扱い方、姿勢と執筆法などの学習活動を意欲的に取り組んでいる。	○		○
	篆刻の学習	氏名印を彫る	用具用材の使い方を理解し、学習活動に意欲的に取り組んでいる。 篆書で氏名印を作成し、篆刻の技法を確認し表現することができる。		○	○
5	漢字の書(楷書)	古典の臨書 「九成宮醴泉銘」 「孔子廟堂碑」 「雁塔聖教序」 「建中告身帖」 「牛欄造像記」	古典の書体や書風に即した用筆、運筆を表現することができる。 古典の美を感じ、楷書の用筆法(直筆・側筆・露鋒・藏鋒)構成法(背勢・向勢・円勢・方勢)を理解し、表現することができる。 古典の線質、字形や構成を生かした表現をすることができる。 書を構成する要素や表現効果、風趣を感じ取り、言葉で表現することができる。		○	
6			書を構成する要素や表現効果、風趣を感じ取り、言葉で表現することができる。		○	
7			主体的に書の表現及び鑑賞に意欲的に取り組んでいる。			○
9	漢字の学習(行書)	古典の臨書 「集字聖教序」 「蘭亭序」 「風信帖」	行書の特徴、楷書との違いを理解している。 行書の基本的な用筆・運筆法を表現することができる。 主体的に書の表現及び鑑賞に意欲的に取り組んでいる。	○		
10			書を構成する要素や表現効果、風趣を感じ取り、言葉で表現することができる。		○	
11	漢字仮名交じりの書	漢字と仮名の言葉を書く	漢字仮名交じりの書の成立について理解している。 用筆法・運筆法の表現との関わりを理解し、効果的に表現することができる。	○		
			漢字と仮名の調和した字形、文字の大小、線質、全体構成について構想し表現している。 主体的に書の表現及び鑑賞に意欲的に取り組んでいる。		○	○

月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
12	仮名の書	いろは単体 古典「蓬萊切」 年賀状を書く	仮名の成立について理解している。	○		
			仮名の基本的な用筆・運筆法を理解し表現している。		○	
			古典の美しさを感じ取り、仮名の基本的な用筆・運筆を表現している。		○	
			書を構成する要素や表現効果、風趣を感じ取り、言葉で表現することができる。		○	
1	漢字の書の学習 (隸書)	古典臨書 「曹全碑」	隸書の成立と特徴を理解している。	○		
			古典作品の臨書を通して用筆・運筆を表現している。		○	
			意図に基づいた表現を構想し、効果的に表現し、意欲的に取り組んでいる。			○
2	漢字仮名交じりの書	座右の銘を書く	漢字仮名交じりの書の表現方法について理解している。	○		
			用筆法・運筆法の表現との関わりを理解し、効果的に表現することができる。		○	
			漢字と仮名の調和した字形、文字の大小、線質、全体構成について構想し表現している。		○	
			主体的に書の表現及び鑑賞に意欲的に取り組んでいる。			○